



# むさし台

令和3年6月30日

No. 4

府中市立武蔵台小学校

校長 堀 誠一



<http://www.fuchuis.fuchu-tokyo.ed.jp/>

## 文献から調べる力を

校長 堀 誠一



今年もまた梅雨の季節を迎えています。先日の全校朝会で梅雨の話をしました。以下に紹介します。

毎日雨模様の日が続いています。今の時季を「つゆ」と呼びます。でも何で「つゆ」というのか知っている人はいますか。実は私も知りませんでした。知らないのに朝会でお話することはできないので調べてみました。まずは辞書で調べてみることにしました。

「つゆ」には3つの言葉があると書かれています。1つ目は「露」。2つ目は「梅雨」。3つ目は「つゆ」。「露」は水の粒を指しています。「つゆ」はそばつゆなどのしるを指すことばです。ですから「梅雨」と書くことが分かりました。説明を読むと、6月から7月にかけて降り続く雨、「ばいう」と書かれています。また「梅雨（つゆ）」は特別に認められた読み方だそうです。これだけでは、なんで「つゆ」と呼ぶのか分かりません。

次に手に取ったのは百科事典です。「つゆ」を調べてみると、「ばいう」で調べると書かれていました。そこで「ばいう」を調べてみると、「つゆ」とも読むと書かれています。「梅雨」の梅はウメのことを指し、梅雨の時季はウメの実が熟す頃と重なるため「梅雨（ばいう）」との呼び方があるのだそうです。しかし、なんで「つゆ」というのかまでは載っていません。百科事典で分かったのはここまでです。一番肝心の「何でつゆというのか」の答えにはたどり着けませんでした。さてそこで、児童の皆さんにお願いがあります。私が調べた以外の方法なら答えが見つかるかもしれません。今週は読書週間です。ぜひ本から答えを探し出してください。

現代はネット社会です。求める情報をインターネットから簡単に入手することができます。しかし、あえて私はインターネットに頼らず、読書週間の取組の一環として文献から調べる方法を子ども達に示しました。今のところ答えを見つけてきた子はいませんが、気長に待とうと思っています。ご家庭でもチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

《7月の詩の暗唱》

いぬか

谷川 俊太郎

いるかいるか

いないかいるか

いないいないいるか

いつならいるか

よるならいるか

またきてみるか

いるかないか

いないかいるか

いるいるいるか

いっぱいいるか

ねているいるか

ゆめみているか

